

10/20
12/15

中学生が赤ちゃんとおふれあい体験

市総合保健福祉センターかがやきで、第二中学校の3年生が「赤ちゃんおふれあい体験」を行いました。これは、赤ちゃんとおふれあうことで、命の大切さや性の尊さを実感してもらうことを目的としています。また、おふれあい体験前の1学期には、市内若草幼稚園で園児との遊びをとおした交流を行いました。

生徒たちは、受け付けを済ませた生後3・4か月の乳児と対面。赤ちゃんの計測や保健師との育児相談に付き添いました。順番を待っている間は、保護者から赤ちゃんがいる生活や子育てについて話を聞いたり、赤ちゃんをあやしたりしました。

まだ首がしっかりと座っていない赤ちゃんを、恐る恐る抱っこする姿は微笑ましく、肌の温もりを実感した様子でした。

体験した生徒からは、「赤ちゃんはとても可愛い。自分が小さい時はどんな様子だったのか知りたくなった」、「とても可愛らしく、守ってあげたいと思った」、「将来はイクメンになりたい」といった感想がありました。

第二中学校家庭科の先生は、「最近小さい子と触れ合う機会が少なくなってきている。この体験をとおして、子どもを育てる親の苦労なども知ってほしい」と話していました。



11/27

日野市（東京都）とスポーツ交流

市内少年軟式野球チーム（美和スタッピーズ・御前山ビクトリー・大賀ドリームス・大宮ライオンズ・上野ホワイトナイツ）の子どもたちが日野市を訪れ、親善試合と交流会を行いました。

日野市とは、平成17年から市民同士の交流を図っていて、今年は4試合の熱戦が繰り広げられました。



▲参加した子どもたち全員で記念撮影



▲「ひたマルシェ」で市をPR

交流事業では、初の取り組みとして「ひたマルシェ」を開催し、市の紹介やPRを行うとともに、特産品「柚子きれい」の試飲を実施。寒空の下で提供されるホット柚子きれいに心も身体も温まり、「常陸大宮市に行ったことがあるよ」、「特産品はどこで買えるの?」、「ふるさと納税をしたよ」などの会話も弾み、大変好評でした。

この日の交流では、両市の参加者約200人が親睦を深めることができました。今後もさらなる友好関係を築いていくとともに、様々な分野・競技で幅広い市民交流を図っていきます。

12/22

東京オリンピックに向けて

宮城県蔵王町で、「蔵王町・常陸大宮市東京オリパラ推進協議会」が設立されました。

本市と蔵王町は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に出場するパラオ共和国のホストタウンとして、ともに国の登録を受けました。

この日の協議会設立では、会長に蔵王町の村上町長、副会長には本市の三次市長が就任し、協議会の規約や事業計画、予算などが話し合われました。

今後は誘致の実現に向けて、両市町が連携して取り組んでいくとともに、パラオ共和国との国際交流や蔵王町との交流についても進めていく予定です。



▲がっちりと握手を交わした両市町長

12/11

多様な文化の交流

今回で7回目となる国際交流フェスティバル（主催：市国際交流協会）を、「祝い、ふれあい、文化のコラボ」と題して、おおみやコミュニティセンターで開催しました。

当日は晴天に恵まれ、市民と海外出身者（中国・ネパール・ポーランドなど）400人以上が来場。ステージ発表やお国自慢の料理などをとおして交流しました。

来場者からは、「七五三の着付けを見られて良かった」、「海外出身者と触れ合える貴重なイベントなので、ぜひ続けていってほしい」など、継続に期待する声もありました。



▲キレのあるダンスを披露する子どもたち

12/3

西の内紙でお年玉袋作っちゃいました!!

市特産の西の内紙（県指定無形文化財）を、身近に感じ普段の生活で使ってもらおうと、「お年玉袋づくり」を道の駅常陸大宮かわプラザで開催しました。これは、和紙文化展開プロジェクトチーム（菊池三千春代表）が、文化庁の補助事業として行っている「本場の『西の内紙』で作っちゃおう!」シリーズの第2弾。手作りのオリジナルポチ袋で、大切な人にお年玉をあげようと、15組23人が参加しました。

夏に実施した「うちわ作り」では、写真をプリントしたり絵を描いたりして、世界に一つのMyうちわを制作。今回は、カラフルな墨流し（マーブリング）やスタンプなどで、ステキなお年玉袋を完成させました。参加者は、偶然が作る色の流れを瞬時に吸い取り、濡れても全く破れない和紙の丈夫さに触れるなど、モノづくりの楽しさを満喫。「使うのがもったいなくなっちゃった」、「お年玉を子どもにあげたら袋は回収する」、「親へのお年玉に使おう」など、皆さん仕上がりにも満足の様子でした。



▲どんな色のポチ袋にしようかな



▲モノ作りは楽しい!



▲完成したポチ袋

12/1

あなたも今日から認知症サポーター in 上野小学校

上野小学校主催の教育講演会で、5・6年の児童や保護者、地域住民が参加して、市認知症サポーターキャラバンメイトによる「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

認知症を正しく理解し、地域の高齢者を見守る体制を作ろうと実施されていて、小学生を対象とした講座は市内では初めてです。



▲認知症サポーターキャラバンメイトによる講演と寸劇

講座では、スライドを使って「物忘れと認知症の違い」や「認知症の人の脳のしくみ」などを説明。その後の寸劇では、財布がないと騒いだり、退職したのに会社へ行くといい出したりする人への接し方や声のかけ方について学びました。児童からは「一番若い認知症患者は何歳ぐらいですか」、「認知症と記憶喪失の違いは」などの質問があり、認知症についての理解を深めました。また合間には、手を使った体操やクイズなどが行われ、楽しく分かりやすく学ぶことができましたようです。受講後は、サポーターの証であるオレンジリングが配られました。



▲予防の脳トレ体操にみんなでチャレンジ

12/3

山方宿駅前をライトアップ

J R水郡線山方宿駅から神奉地児童公園までの通りで、初めてのイベント「きらきらステーション～サンタの里からのプレゼント～」が開催されました。

この日は晴天で、午後4時半からのイルミネーション点灯式には、親子連れなど約1,000人が来場。用意した500個のキャンドルに点火し、会場を光で飾りました。またミニライブや模擬店の出店などもあり、子どもたちの笑顔があふれていました。

このイルミネーションは2月28日まで行われています。ぜひご覧ください。



▲光に彩られた山方宿駅前

12/1

日本林道協会会長賞受賞

平成28年度治山・林道コンクール（主催：日本林道協会）で、山方地域の林道グリーンライン照山線が、日本林道協会会長賞を受賞しました。これは、除草等の維持管理が評価されての受賞です。

照山線は、総延長6,090m・幅員5.0mの道路で、森林の整備や林業経営に欠かせない重要な役割を果たしています。今後も周辺環境に配慮しながら、林道の維持管理を行っていきます。



▲表彰式で賞状を手にする三次市長

12/4

人権について考える

人権週間（12月4～10日）にあわせて、「じんけんフェスタ in 常陸大宮」を、市文化センターで開催しました。フェスタでは、人権をテーマとした小学5・6年生対象の書道と小中学生対象の標語の入賞者に、表彰状が手渡されました。また、全国中学生人権作文コンテスト茨城県大会で入賞した作文を、市人権擁護委員が朗読しました。



▲受賞者と人権擁護委員の皆さん

最後は、市人権擁護委員の平島則子さんと本市出身ミュージシャン平島慎吾さんのバンド“Shingo Hirashima Group”による「音楽がつなぐ心」と題したライブ&トーク（朗読）に会場は盛り上がり、たくさんの拍手で幕を閉じました。



◀ライブ&トーク（朗読）の様子

12/2

地域福祉の向上に貢献～民生委員・児童委員に感謝状～

市の民生委員・児童委員の改選にあたり、市文化センターで感謝状の贈呈や委嘱状の交付が行われました。退任される委員で、厚生労働大臣表彰は6年以上、県知事表彰は3年以上在籍した方に贈られます。

この日表彰されたのは59人。市長から感謝状や記念品などが贈られ、前市連合民生委員児童委員協議会会長の梶文雄さんが、受賞者を代表して謝辞を述べました。

委員は厚生労働大臣の委嘱を受け、支援を必要とする地域住民の相談役や行政・関係機関とのパイプ役を担い、問題解決の援助などを行います。

*新しい委員は、広報常陸大宮12月号に掲載しています。

12/7
～21

第4回市議会定例会

平成28年第4回常陸大宮市議会定例会が、12月7日から21日まで開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ同意及び可決されました。

条 例

- 常陸大宮市行政組織条例
- 常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市税条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市印鑑条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市長山景樹特別奨学金給付条例の一部を改正する条例

平成28年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計（6会計）補正予算

その他

- 相互救済事業の委託について
- 指定管理者の指定について
やまがたすこやかランド 三太の湯、ごぜんやま 温泉保養センター 四季彩館、美和ささの湯
- 市道路線の廃止について
- 教育委員会委員の任命について
星野 幸子
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
鈴木 泰全



▲感謝状が贈られた委員の皆さん

11/7 「ひよっこ」ロケに小瀬高生が参加

平成29年4月から放送されるNHK連続テレビ小説「ひよっこ」劇中でヒロインたちが走る聖火リレーシーンの撮影が、常陸太田市内で行われました。

ヒロイン谷田部みね子役の有村架純さんや、親友役の佐久間由衣さんが参加。本市からも小瀬高校生40人が聖火ランナーを応援する高校生役として参加しました。生徒たちは、沿道での旗振りや出演者の追走などを演じ、若い力で撮影を盛り上げました。



▲聖火リレーを応援する小瀬高校生たち

12/4 かがやきまつり

市総合保健福祉センターかがやきで、かがやきまつりが開催されました。

この日は天候に恵まれ、ふれあいステージでの芸能発表や模擬店の出店がありました。また、医師・薬剤師による歯科相談やお薬・禁煙相談などがあり、多くの人でにぎわいました。式典では、健康づくりの普及啓発に努めた方へ保健衛生功労者表彰が行われました。



▲ふれあいステージでダンスを披露

12/3 常陸大宮市のお宝を学ぼう ～第5回お宝発見事業～

第5回のお宝発見事業（主催：生涯学習課）を、40人が参加してパークアルカディアで実施しました。

はじめは化石採取を体験。ジオネット常陸大宮の皆さんに教わりながら、石を割って化石を見つけました。次はプラネタリウムを見学。ドーム状のスクリーンに映し出される映像を見ながら、星座について学びました。そして最後はパターゴルフを体験し、9ホールでスコアを競いました。

昼食はピザ作りに挑戦。自分で生地を伸ばしてトッピングをし、ドラム缶の窯で焼き上げたピザは、とても美味しくできたようです。

午後はウォークラリーを実施。ボランティアの茨城大学生と一緒に、クイズを解きながらパークアルカディア内を見学し、いろいろな遊具や施設があることを学びました。

参加者は、様々な体験ができるこの場所を知って、またひとつ本市の魅力を発見した様子でした。

参加者の声

- ・ パターゴルフをまたやってみたい
- ・ プラネタリウムで星のことが分かった
- ・ こんなに楽しいところを知ることができてよかった



▲どんな化石が見つかったかな？



▲パターゴルフに挑戦



▲ピザ作りでは好みの具をトッピング

12/11 常陸大宮吹奏楽団定期演奏会

市文化祭の一環として「第25回常陸大宮吹奏楽団定期演奏会」が開催されました。

今年は、市内全中学校や合唱団との共演のほか、大宮中出身でプロのアルトサキソフォン奏者の寺門正人さんを招待。吹奏楽団をバックに奏でるサックスの音色は、会場全体を魅了していました。来場者アンケートでは、「これからも演奏会を継続してほしい」、「吹奏楽団と共演できる後輩の中学生がうらやましい」等の声がありました。

今回は25回目の記念公演ということもあり、第1回からの演奏会ポスターやプログラム等の展示も行われました。



▲寺門正人さんと吹奏楽団の共演

12/18 和太鼓フェスティバル

今年度市文化祭最後の催しとなった「第3回和太鼓フェスティバル」が開催されました。

市文化協会に加盟している6つの団体と市内3つの保育園等が参加し、息の合ったバチさばきに、会場からたくさんの拍手が上がっていました。また今回は、民族歌舞団荒馬座代表の岡田仁先生を講師に迎え、演奏後には的確な助言をもらい、来年につながる発表会となったようです。

＜参加した保育園等＞

- ・ひまわり保育園
- ・緒川げんき保育園&げんき太鼓クラブ
- ・御前山認定子ども園



▲最後に合同演奏を披露

映画「ホームタウン」上映会 ー常陸大宮ムービープロダクションチームー

本市を舞台に、市内在住の高校生たちが制作した映画の第2弾「ホームタウン」の上映会が、11月12・13日にふれあいギャラリーで、また11月19・20日には、市文化祭の一環として、市文化センターで開催されました。彼らは映画をとおして、市の魅力や情報の発信、地域活性化を目的に活動しています。



▲ふれあいギャラリーでの上映会

出演／鯉淵翔太・野澤岳史・川又明・倉田稔之・平島則子
監督・脚本・編集／益子侑也
助監督／倉持広夢 制作進行／國分大樹
進行助手／大越一徳・菊池愛夏
撮影／益子侑也
撮影助手／佐々木涼我・生天目彪真・深町凌大
録音／河井孝太
スタイリスト／菅野聖 演技アドバイザー／金澤陽菜
原案／菊池一俊「かんとリーどーろ」
主題歌／日々かりめろ「home town」
作詞：菊池一俊 作曲：高田梢枝

ホーム
タウン
上映会

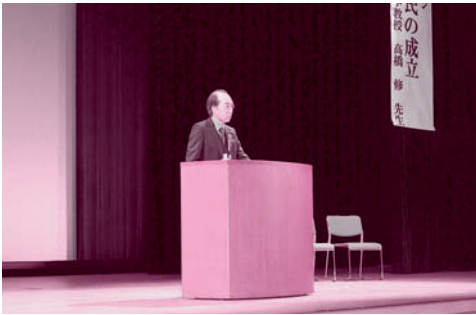


常陸大宮ムービープロダクションチーム
11月19日(土)・20日(日)
①10:30～②13:00～
③14:30～④16:00～
※20日は2部まで

■問い合わせ■ 大宮公民館 ☎52-0673

12/10

第2回文書館カレッジ「常陸佐竹氏の成立」を開催



▲講演する茨城大学の高橋先生

第2回文書館カレッジを、茨城大学人文学部教授の高橋修さんを講師に迎えて開催しました。

「シリーズ常陸大宮と佐竹氏その1」となる今回は、佐竹氏の祖となる源義光が都から常陸国へ本拠を移し、その孫昌義が佐竹郷に定着する過程のお話。高橋先生の史料を使った分かりやすい説明に、来場者は熱心に耳を傾けていました。地元でも人気の高い佐竹氏の講座とあって、200人を超える来場者でにぎわい、質疑応答でも熱心な議論が交わされました。

第3回は3月頃を予定しています。

11/26

青少年をたたえる市民のつどい

緒川総合センターで「第12回青少年をたたえる市民のつどい」が開催され、善行青少年や青少年の健全育成に尽力した個人や団体を表彰しました。また、少年の主張茨城県大会での発表者を含め、今回優秀賞を受賞した児童・生徒の作文発表が行われました。



▲作文発表をした児童・生徒

【青少年の主張作文入賞者】

賞	氏名	学校名
優秀賞	大瀧 圭佑	美和小
	大森 秀刃	大賀小
	木村 柊哉	大宮北小
	都竹裕次郎	御前山小
会長奨励賞	伊坂 美優	緒川小
	海老根寿音	上野小
	木村 芽生	山方小
	左近充海翔	大宮小
	篠田 上総	村田小
	藤田 亜美	山方南小
	箕輪 蒔希	大宮西小

【善行青少年表彰者】

区分	氏 名	
小学生	沢畑 壹心(大宮西小)	
中学生	安藤沙優里、安藤大翔、大越美波、田中麻奈美、濱野美咲(御前山中)	
高校生	青野 百花	五味渕奈摘
	内舘 遥菜	笹沼 風歌
	金田 雄樹	中崎 麗奈
	木村 亜海	平澤穂乃香

【青少年健全育成表彰団体】

支部	団体名
大宮	栄町環境美花クラブ
大宮	フロイデDAN

【青少年育成常陸大宮市民会議功労者】

支部	氏名
大賀	石川 拓男
玉川	野上 公之

賞	氏名	学校名
優秀賞	市野沢夏奈	第二中
	臼井 彩菜	第二中
	小口 結希	山方中
会長奨励賞	後藤 歩	明峰中
	小森 菜那	御前山中
	萩谷 咲紀	大宮中



スポーツ大会結果

第13回常陸大宮市剣道錬成大会

開催日：12月4日

会場：西部総合公園体育館

主催：市剣道連盟（木村則義会長）

参加人数：団体の部23団体、個人の部92人

【団体の部】

部 門	優 勝	準優勝	第3位	
小 学 生	御城館 A	御城館 B	御城館 C	美和剣道クラブ
中 学 生	御城館	大宮中学校 A	第二中学校 A	明峰中学校
高校・一般	常陸大宮市選抜	大宮尚武館 B	白雲会 A	御城館



▲高校・一般の部優勝 市選抜



▲中学生の部優勝 御城館



▲小学生の部優勝 御城館 A

【個人の部】

部 門	優 勝	準優勝	第3位	
小 学 4 年 以 下	野上 悠人 (上野剣道ク)	坏 知世 (御城館)	坏 拓末 (御城館)	高村 芽衣 (御城館)
小学5・6年男子	野上 晴杜 (御城館)	五十嵐陸音 (上野剣道ク)	上松 裕満 (玉川)	
小学5・6年女子	櫻井 瑞稀 (上野剣道ク)	猿田 莉子 (御城館)	木村 芽生 (御城館)	
中 学 男 子	船山 憂麻 (御城館)	小林 龍生 (大宮中)	桑名 璃夢 (明峰中)	大串 和也 (御城館)
中 学 女 子	直井 仁美 (御城館)	小森あすか (山方中)	菊地 桃子 (第二中)	高岡 茜里 (御城館)

【小学生初心者個人錬成の部】

優秀賞	小森 嘉恵 (上野剣道ク)	栗島 直輝 (上野剣道ク)	富山比羅夫 (正念館)
	花野 皓 (上野剣道ク)	花野 瑛 (上野剣道ク)	鈴木 蒼空 (正念館)

第23回ママさんバレーボール大会

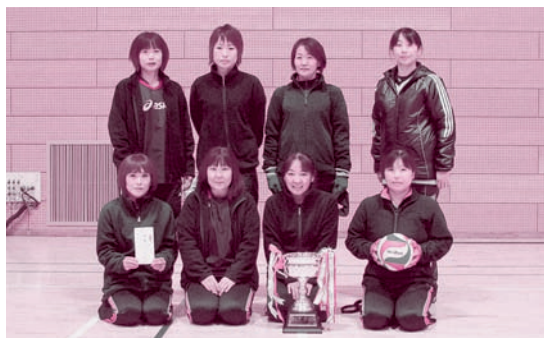
開催日：11月27日

主催：市バレーボール連盟（青木秀雄会長）

会場：西部総合公園体育館

優勝：グルービー

準優勝：盛和球友クラブ



▲優勝したグルービー

第31回常陸大宮市ソフトバレーボール大会

開催日：12月9・16日
主催：市ソフトバレーボール連盟（堀江甫会長）
会場：西部総合公園体育館

優勝：LINES A 準優勝：美和ユニークス A
第3位：MIDORI 第4位：チーム山方



▲優勝したLINES A

第13回常陸大宮市近郊中学校バスケットボール大会

開催日：12月24・25日
主催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会場：西部総合公園体育館
参加チーム：男女各9チーム

【男子の部】

優勝：那珂市立瓜連中学校
準優勝：東海村立東海南中学校
第3位：常陸大宮市立第二中学校
敢闘賞：常陸太田市立金砂郷中学校

【女子の部】

優勝：那珂市立第四中学校
準優勝：東海村立東海南中学校
第3位：常陸大宮市立第二中学校
敢闘賞：城里町立常北中学校

地域おこし協力隊 No.9 がゆく

諸沢・北富田地区活性化担当の志賀です。
常陸大宮市に来てから、もうすぐ1年が過ぎようとしています。任期1年目は、地域活性化などの知識・経験の引き出しを増やす期間として、取材やイベントのお手伝いを中心に活動してきました。そして次に進むステップは、1年目に増やした引き出しを組み合わせ、地域に還元させていく事です。



▲久しぶりの餅つきでへっぴり腰の私（志賀隊員）と
おいでなんしょまつり



▲具だくさんの手打ちそばとお汁粉

12月4日に諸沢・北富田地区で行われた「おいでなんしょまつり」は、3年目を迎えました。1・2年目の目新しさがなくなる分、3年目はさらに興味を持ってもらえる企画でなければ、お客さんは集まりません。しかし、お客さんと主催者の両方が楽しめる企画は難しく、“何のためにおまつりをやるのか”と目的を考え直す必要性を感じました。

地域活性化において大切なのは、結果に捉われずにまずアクションを起こす事、そして継続させていく事だと考えています。任期2年目は、住民の皆さんと一緒に活動の幅を広げていきたいと思っています。